米沢興譲館同窓会会報

第29号
発行／平成12年8月5日
米沢興譲館同窓会
会報　編集委員会

当会報の題字は、第19号から奥山徹石氏（昭和28年卒）の揮毫によるものです。

登山は現在も大切な母校の行事の一つ。変わりゆく周囲の景色を楽しみながらも、目にはみえない大切なものを求めて歩くこの道はまた、新しい世紀に通じる道でもある。

世紀を超えて伝え　育む興譲の心

平成十二年度同窓会総会・懇親会
実行委員長　中條良文
（昭和四十年卒・不惑の会）

藩学創設三〇〇年記念の最大事業であります懸案の記念講堂が完成の運びとなり、同窓会会員並びに母校の願いが叶い、いよいよ新講堂の竣工式を迎える事となりました。同窓会会長はじめ、役員そして会員の皆様方の母校興譲館への深い敬愛の情を感じずにはいられません。この新講堂が後輩諸君の心の教育、感性を育む場として、また同窓会の活動拠点、地域文化発展の場として機能すれば会員一同の慶びとするところであります。

このような記念すべき年に昭和四十年卒、四十四年、四十九年、五十五年、六十年卒の実行委員が同窓会総会・懇親会の準備を進めて参りました。全国の同窓生が一堂に会し、新講堂の誕生を祝いそして二十一世紀への想いを語る会へ、多くの会員の皆様が参加されますようお待ちいたしております。

尚、九月十九日（火）新講堂にて創立記念式典、竣工式、柿落そして同窓会総会を行い、午後六時よりグランドホクヨウ米沢にて懇親会を催します。また九月二十日（水）には、上杉邦憲氏による記念講演会を新講堂にて開催いたしますので、同窓生多数の参加をいただきたく重ねてご案内申し上げます。

待望の講堂完成

同窓会長　川野　希

藩学創設三百年記念事業も最終年を迎え、待望の講堂がいよいよ私たちの前にその姿を現しました。

ここまでには様々な問題もありましたが、同窓生の皆様の温かいご支援によって、予定どおり八月末に完成し、検査を経て九月十九日の創立記念日には竣工式を挙げることができます。

依然として景気の低迷している現在、三億円の巨費を投じて講堂を建てるという大変困難な事業でありましたが、母校を愛する先輩各位や、趣旨に賛同しご協力くださった方々の熱い思いと、工事に携わった関係者の損得を抜きにした取り組みによって、みごとに花を咲かせたものと、心から感謝申し上げます。

ただ、当初の募金目標にはまだ及ばない状況であり、完成を祝う行事も、できるだけ金をかけない質素なものとなりました。ここでも、無償のご協力を頂くOB・OGの皆さんに深く敬意を表する次第です。

卒業年次目標に達しない学年は、できるだけ早く負債を解消するためにも、今後とも継続して募金活動にご協力頂きたいものです。みんなで取り組んだ事業は、みんなで力を出し合ってこそ同窓会の充実発展につながるものと信じます。

さて、九月十九日の総会・大懇親会のために、当番学年の諸君が早くから準備して取り組んでおられます。例年以上に大成功に終るよう、皆様のお力添えをお願いします。

また、各支部・各学年それぞれの活動も一層充実してきていることはご同慶の至りです。今後更なる発展を遂げるよう、特に若い卒業生諸君の力強い参加をご期待申し上げます。

東京支部総会にて

記念講堂竣工式に関連する行事のご案内

★9月19日（火）

午前九時三十分　創立記念式典
午前十時三十分　記念講堂竣工式
昼食・休憩
午後一時　記念音楽会
＊吹奏楽演奏（現役生徒）
＊コーラス（滝沢美恵子先生他OB・OG）
＊ピアノ演奏（黒田満里さん）昭和五十三年卒
午後四時　同窓会総会
以上新記念講堂
会場移動（グランドホクヨウ米沢）
午後六時　大懇親会

★9月20日（水）

午前九時　記念講演（上杉邦憲氏）

（注）記念講堂竣工式より参加の方々には昼食を差し上げます。当番学年で取り纏めておりますので、各学年の担当者にお申込みください。

飛躍の好機

―藩学創設三〇〇年―

校長　巻　久

藩学創設三〇〇年をお祝いする各種行事のうち、そのフィナーレを飾るのにふさわしい記念講堂が完成間近となっております。構想してから早四年が経過し、特に、同窓会の皆様方には財政的な面で多大なご支援を賜りました。

上棟式をはじめ、これまで何度か内部を一巡する機会がありましたが、玄関を入ってすぐのフロアが吹き抜けになっているため、空間が十分確保されているとの印象をまず受けます。また、階段状に並ぶ一〇〇〇席の座席はまだコンクリートが打たれた状態になっておりますが、後方からステージへの眺めは誠に壮観であります。完成が待たれるところであります。これまでご尽力いただいた多くの方々のご労苦に心から感謝申し上げます。

私は、藩学創設三〇〇年の諸行事を、本校が一段と飛躍する好機と位置づけて努力してまいりました。難関大学への挑戦や部活動の活性化などの課題が依然残っておりますが、生徒自治会委員長に三名が立候補したことは過去十五年間にない記録ですし、また、応援団長に久々に立候補者が出て、格調高い応援団活動が展開されたことに教職員一同、大いに喜んでいるところです。

山岳部が最優秀賞を獲得し、二十二年ぶりにインターハイに出場することも特筆すべきことであります。更に、この夏休み期間中に、生徒代表五名が鷹山公のふるさとを訪問し、名門校、宮崎県立高鍋高校と交流することになっております。勉学にしろ、部活動にしろ、人生の中で最も多感な青春時代に心ときめく体験をできるだけ多く積ませたい、そのことが二十一世紀に活躍する大きな決め手になると確信しております。

同窓会の皆様方には、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

藩学創設三〇〇年記念 ―学生讃歌決定！―

三百年記念行事の一環として、同窓生、在校生が口ずさめる歌の募集を行ってきました。

締切りの六月三十日までに応募されたものを審査し、下記の作品を決定、藩学三百年記念「学生讃歌」として創立記念日に発表することになりました。ますますの母校の発展と共に、歌いつがれるよう期待したいものです。

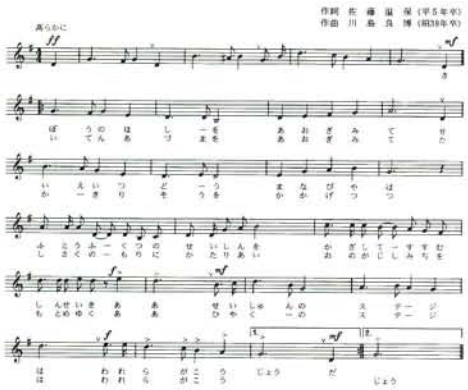
学生讃歌

作詞　佐藤　温保（平成五年卒）
作曲　川島　良博（昭和三九年卒）

一、希望の星を　仰ぎ見て
精鋭集う　学び舎は
不撓不屈の精神を
かざして進む　新世紀
ああ　青春のステージは
我らが　興譲

二、大巓吾妻を　仰ぎ見て
高き理想を　かかげつつ
思索の森に　語り合い
おのがじし道を　求め行く
ああ　飛躍のステージは
我らが　興譲

藩学創設300年記念「学生讃歌」



記念講堂9月19日竣工式

藩学創設三〇〇年記念事業
実行委員会事務局より

記念事業の中心となる講堂建設工事は、予定どおり順調に進み、来たる9月19日の創立記念日当日に竣工式を挙行することになった。

先に「記念事業ニュース」でお知らせしたように、市内五社による共同企業体と契約して工事を開始。2月1日には県教育長をお招きして安全祈願祭（起工式）を行い、その後6月2日には講堂内部で上棟式を行った。8月末には完成して検査を受ける予定。

体育館と渡り廊下で結ばれた記念講堂
（7月26日撮影）

上棟式の「棟締の儀」
（巻校長・川野同窓会長・
相田建設施工者代表による）

安全祈願祭（起工式）での
玉串奉奠（平田自治会委員長）

三百年記念写真集

興譲館三百年のあゆみを、気軽に見られる写真集を作製することになりました。

A4版、約百ページ。頒布価格は一部一五〇〇円。先の「ニュース」では、予定価格三〇〇〇円とあったが、一部広告を掲載することで、購入しやすい価格にしました。

各年次ごとにまとめて購入されることを希望します。

募金状況

（平成12年7月31日現在）

種別	目標A	件数	寄附申込額B	寄附申込額C	B／A	C／A
同窓生・関係団体	318,000千円	3,220	270,587,389	247,676,389	85.1%	77.9%
篤志	75,000千円	86	54,530,000	48,780,000	72.7%	65.0%
現旧教職員	5,000千円	164	6,230,000	5,950,000	124.6%	119.0%
雑収入	2,000千円	21	1,661,338	1,661,338	83.1%	83.1%
合計	400,000千円		333,000,727	304,067,727	83.3%	76.0%

同窓生学年別納入額

昭和5年卒	330,000	330,000	28年卒	3,090,000	3,030,000	52年卒	1,080,000	1,080,000
6年卒	55,000	55,000	29年卒	3,160,000	3,160,000	53年卒	20,000	20,000
7年卒			30年卒	3,015,000	3,015,000	54年卒	848,000	848,000
8年卒	115,000	115,000	31年卒	3,640,000	3,540,000	55年卒	1,345,000	1,345,000
9年卒	30,000	30,000	32年卒	3,060,000	3,060,000	56年卒	401,000	401,000
10年卒	200,000	200,000	33年卒	3,000,000	3,000,000	57年卒	150,000	150,000
11年卒	1,620,000	1,620,000	34年卒	3,050,000	3,050,000	58年卒	163,000	163,000
12年卒	381,000	381,000	35年卒	1,700,000	1,700,000	59年卒	360,000	360,000
13年卒	1,100,000	1,100,000	36年卒	3,000,000	3,000,000	60年卒	210,000	210,000
14年卒	640,000	640,000	37年卒	3,080,000	3,080,000	61年卒	240,000	240,000
15年卒	1,482,000	1,482,000	38年卒	3,275,000	3,245,000	62年卒	140,000	140,000
16年卒	1,040,000	1,040,000	39年卒	2,530,000	2,530,000	63年卒	140,000	140,000
17年卒	750,000	750,000	40年卒	2,160,000	2,160,000	平成1年卒		
18年卒	2,130,000	2,130,000	41年卒	3,060,000	3,060,000	2年卒	10,000	10,000
19年卒	2,420,000	2,420,000	42年卒	3,565,000	3,565,000	3年卒	30,000	30,000
20年卒前期	2,205,000	2,175,000	43年卒	1,935,000	1,935,000	4年卒		
20年卒後期	2,000,000	2,000,000	44年卒	2,473,000	2,473,000	5年卒	30,000	30,000
21年卒	1,172,500	1,172,500	45年卒	1,320,000	1,290,000	6年卒		
22年卒	1,422,500	1,412,500	46年卒	1,130,000	970,000	7年卒		
23年卒	1,110,000	1,110,000	47年卒	1,150,000	1,150,000	8年卒		
24年卒	930,000	910,000	48年卒	2,100,000	2,100,000	9年卒		
25年卒	4,155,000	3,915,000	49年卒	1,777,000	1,777,000	定時制		
26年卒	3,180,000	3,180,000	50年卒	550,000	550,000	昭和	865,000	865,000
27年卒	3,840,000	3,740,000	51年卒	2,120,000	2,070,000	合計	97,280,000	96,450,000

募金目標　・17年以前　100万以上　・18～22年　240万　・23～63年　300万
・定時制（一括）　300万　・平成以降　100日標

長井西置賜支部長に松下氏

わが支部は、昭和四十五年（一九七〇年）九月大井魁先生が校長に就任された年、ときの市長羽田貞三氏（大正九年卒）を支部長として呱々の声をあげた。昭和五十年、外田陽氏（昭和二十三年卒）が二代目支部長に就き、地域での興譲館の評価を高くした。

去る六月十九日、巻校長、川野会長を招き総会を開催、退任の意思が固い外田支部長の労に感謝し、三代目支部長に松下鉛三郎氏（昭和三十一年卒）を選任、終夜興譲館談義に花が咲いた。

支部幹事長　渡部　秀一

平成10年度　同窓会決算書

(平成10年9月1日より平成11年8月31日まで)

収　入

(単位：円)

項　目	予算額	収入済額	増減(△)	備　考
繰越金	321,929	321,929	0	
入会金	1,624,000	1,624,000	0	7,000×232名
年会費	2,250,000	1,541,000	△ 709,000	
過年度会費	500,000	200,000	△ 300,000	過年度会費未納分
雑収入	1,071	1,496	425	預金利子
計	4,697,000	3,688,425	△1,008,575	

決算額

収入済額 3,688,425円－支出済額 3,146,722円

＝残額　541,703円

(次年度へ繰り越し)

支　出

(単位：円)

項　目	予算額	支出済額	増減(△)	備　考
(運営費)	(1,420,000)	(1,203,283)	(△216,717)	
会議費	120,000	25,408	△94,592	会議費補助
通信連絡費	100,000	61,280	△38,720	通信費
需用費	200,00	116,595	△83,405	事務経費・慶弔費
人件費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
(事業費)	(2,550,000)	(1,754,439)	(△795,561)	
一般事業費	1,900,000	1,145,839	△754,161	各支部総会（旅費・お祝）送料
卒業記念費	250,000	243,600	△6,400	認印
表彰費	50,000	50,000	0	記念品代（5名）
会報費	350,000	315,000	△35,000	第28号 10,000部
(予備費)	(727,000)	(189,000)	(△538,000)	
予備費	727,000	189,000	△538,000	過納会費引き当て金
計	4,697,000	3,146,722	△1,550,278	

参　考　年会費預かり状況　(単位：千円)

年　度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	計
金　額	548	286	185	138	77	44	35	20	11	6	4	1354

◎高畠支部

支部長　登坂捷一
〒992-0351　東置賜郡高畠町高畠2152-23
☎0238（52）0017
副支部長　梅津伊兵衛・星　寛治
幹事長　鈴木征治
事務局長　連絡先　金田成康　高畠町役場内
☎0238（52）1111

◎赤湯支部

支部長　須藤清次　〒999-2211　南陽市赤湯3005
☎0238（43）6111
副支部長　伊藤幸太・吉田堅治
事務局長　連絡先　高橋順一
〒999-2231　南陽市二色根76-1

◎宮内支部

連絡先　〒992-0472　南陽市宮内3010-10
吉田文雄　☎0238（47）2706
支部長　佐藤　稔
副支部長　川合悌次郎・星　清一
幹事長　吉田文雄
監事　高橋正夫

◎川西支部

連絡先　〒992-0121　東置賜郡川西町上小松
川西町役場　猪狩文昭　☎0238(42)2111
支部長　遠藤忠志
〒992-0213　東置賜郡川西町尾長島1211
☎0238（42）4121
副支部長　鈴木　弘
監事　船山昭司・嶋津憲英
幹事長　猪狩文昭
事務局長　島貫啓一・後藤哲雄・大友勝治

◎長井西置賜支部

支部長　松下鉱三郎
副支部長　井上俊雄・芳賀康雄
監事　安部義彦

◎小国支部

支部長　高井朋次
〒992-1203　西置賜郡小国町市野々389
☎0238（65）2006
副支部長　阿部　正・木村信夫
幹事長　渡部君夫

◇興譲館同窓会校内役員

理事　小野隆夫（教頭）・武田蹤一・菅　弘
堀江昭浩・加地信彦
幹事　石黒宏治・鑓水武夫・佐藤美枝子

平成11年度　同窓会予算書

（平成11年9月1日より平成12年8月31日まで）

収　入

（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	増 減(△)	備　考
繰 越 金	541,703	321,929	219,774	前年度繰越金
入 会 金	1,568,000	1,624,000	△56,000	224名×7,000
年 会 費	2,250,000	2,250,000	0	昭26年～平元年まで 50,000円×39学年 昭15年～昭25年まで 30,000円×10学年
過年度会費	500,000	500,000	0	過年度会費未納金
雑 収 入	297	1,071	△　774	預金利子
計	4,860,000	4,697,000	163,000	

支　出

（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	増 減(△)	備　考
(運営費)	(1,420,000)	(1,420,000)	(　0)	
会 議 費	120,000	120,000	0	役員会等
通信連絡費	100,000	100,000	0	郵便切手
需 用 費	200,000	200,000	0	慶弔・転退職者餞別・消耗品
人 件 費	1,000,000	1,000,000	0	人件費等
(事業費)	(2,610,000)	(2,550,000)	(60,000)	
一般事業費	2,000,000	1,900,000	100,000	各支部総会（お祝い・旅費）
卒業記念費	250,000	250,000	0	記念品代
表 彰 費	10,000	50,000	△40,000	永年勤続者（1名）
会 報 費	350,000	350,000	0	印刷代
(予備費)	(830,000)	(727,000)	(103,000)	
予 備 費	830,000	727,000	103,000	過納会費返済のため
計	4,860,000	4,697,000	163,000	

9月19日に披露される記念コーラスの練習風景

米沢興譲館同窓会支部役員

◎米沢支部　連絡先　〒992-1443　米沢市大字笹野1101
米沢興譲館高等学校　☎0238（38）4741
支部長　高橋忠蔵
副支部長　相田英一・大友恒則
監　事　安達治雄
幹事長　小関　薫
事務局長　遠藤岩根

◎東京支部
支部長　磯貝昌弘
副支部長　後藤主計・月生田健
幹事長　吉田仁志
副幹事長　板垣昭次・五雲寺卓・川井陽一
本川　裕・大浦顕逸
連絡先　〒120-0002　東京都足立区中川4-8-11-101
㈱ハナマル（吉田仁志）
☎03（3606）6101（FAX共）

◎関西支部
支部長　斎藤秀吉
副支部長　山本三郎・大石　彰・川合雄介
幹事長　大槻正重
事務局　連絡先　勝見哲朗
〒537-0011　大阪市東成区東今里2-15-30
サン美術印刷㈱　☎06（976）0231

◎宮城支部
支部長　中條　仁
副支部長　芳賀滋弥・和田美知子
幹　事　林一郎・小林令児・矢尾板範子・香坂昌紀
大武清夫・小関隆久・金子謙一・猪俣良市
御供政敏・森下和夫・高橋芳彦・鈴木利実
連絡先　〒983-0862　仙台市宮城野区二十人町6
☎022（291）5372（中條　仁）

◎山形支部
支部長　板垣義次
副支部長　堤　孝雄・後藤　寛
幹　事　二瓶　功・花輪完治
監　事　岩沼　甫・安部　敏

◎県庁教育委員会職員同窓会
会　長　佐々木洋治
副会長　山村　勝・高橋　潔
幹事長　斎藤忠男
幹事長代理　鈴木敬次

◎置賜地区県職員同窓会
連絡先　〒992-0012　米沢市金池東南置賜合同庁舎
☎0238（24）2311
支部長
幹事長　大海康一

母校だより

鷹山公によって結ばれた両校の交流がはじまる

宮崎・高鍋高校を訪問へ

県立米沢興譲館高校は、米沢市の姉妹都市・宮崎県高鍋町にある県立高鍋高校との交流を深めるべく、今月二十四日から二泊三日の日程で、高鍋高校を訪問することになった。これを前に、巻久校長をはじめ、訪問する生徒代表らがこのほど、米沢市役所と同市教育委員会をあいさつに訪れた。

高鍋町は、秋月氏三万石の城下町として発展した歴史の町。宝暦十年（一七六〇年）、上杉家の養子になったのが、米沢藩中興の祖・上杉鷹山公で、その関係から民間交流が盛んとなり、昭和五十六年に姉妹都市を提携した。現在では特に、小学生同士が互いに訪問し合い、交流を深め合っている。

今回の交流は、鷹山公によって結ばれた両校の交流を通して、かけがえのない歴史への想いを新たにするとともに、学習活動、生徒自治会活動、部活動などに関する情報を交換し、二十一世紀を担う有為な人材の育成を目的に行われることになった。

高鍋高校を訪問するのは、小野隆夫教頭ら三人の引率教諭と、生徒自治会委員長の玉野智之君（二年生）、同副委員長の島貫千恵美さん（同）、それに陸上部員の一・二年生三人。

一行は、町役場を表敬訪問するほか、生徒自治会役員との交流や部活動などの見学・参加、鷹山公ゆかりの旧跡見学などを予定し、高校生同士の交流を深めてくる。

今冬には、高鍋高校の一行が、興譲館高校を訪問する予定だ。

高鍋高校を訪問する玉野君（右）と島貫さん

2000.7.19　米沢新聞

自頼奨学財団の果実目減り 緊急対策で寄付四〇〇万円

財団法人「自頼奨学財団」は、ご存じのとおり、本校の大先輩、我妻榮先生の文化勲章受賞を記念して昭和四十一年に設置されたもので、「本校在学生への奨学金給付（卒業生二五七人・在校生九人）」・「自頼文庫（本校）」と「まがき文庫（興譲小学校）」の図書購入などの事業を行っています。

これらの経費は、基金からの果実によって運用されていますが、現在の超低金利のために果実は著しく減少し、我妻先生のご意志を生かし続けることは困難な状況になりました。

そこで、昨年度本奨学事業の趣旨にご賛同いただける方々に、ご支援をお願いしましたところ、自頼卒業生の方々はじめ多くの方から四〇〇万円あまりの心温まるご支援を頂きました。なかには一〇〇万円もお寄せいただいた自頼卒業生が、お二人もいました。本当にありがたいことでした。

しかし、今回の支援金を運営資金に繰り入れましても、現在と同じ奨学生数を確保すると、あと五年程度でまた同じ厳しい状況になると思われます。その後は、経済状況が改善し利率が向上して基本財産からの果実が増えるのを待たなければなりません。そこで、当面この募金を継続し、より多くの方々にご協力をお願いいたしたいと思っております。

どうか趣旨をご理解下さいまして、ご支援を賜りたく、心からお願い申し上げます。